

## 関西支部勉強会レポート

### 第 42 回関西支部勉強会

世界は広いよ～ 研究成果を海外のメディアへ！

**日時** 2014 年 5 月 28 日（水） 18:00-20:00

**場所** 京都大学 吉田泉殿

**ゲスト** 今羽右左 デイヴィッド 甫（David Hajime Kornhauser） 氏  
（京都大学 KURA（学術研究支援室） 国際・広報担当 シニア URA）

**人数** 13 人

今回のゲストは、今回のゲストは、この間まで、京都大学 iCeMS 国際広報室でお仕事をされていて、今は、京都大学学術研究支援室にいる David さん。いろいろな世界を見て来た David さんから日本の大学の広報はどう見える？？

#### お話の目次：

1. 自己紹介
2. Why?
3. How?
4. Who?
5. When?

#### お話の詳細：

1. 自己紹介
  - ・世界中を駆け巡った経験、首尾一貫しているのは「広報」
2. Why?
  - ・一般メディアと専門メディアは違う。
  - ・一般メディアでは、悪評も広報の内と考えられているが、科学広報では違う。理系の先生方は驚くほど細かいところまできちんと記憶している。
  - ・一般メディアと専門メディアに架け橋を。
  - ・それによって反響の輪が広がり、知名度を上げる効果が得られる。

## 関西支部勉強会レポート

### 3. How?

- ・日本語の壁をだんだん崩していきたい。但し、単純に日→英ではない。
- ・タイトル・図・キャプションが大事。
- ・タイトルと図しか見ない人が多い。
- ・一番重要なことを真っ先に持ってくる。所属等の詳細は後回し。
- ・難しい内容は研究者が言っていることにすると読んでいる人にも信頼感が出る。
- ・EurekAlert! (北米中心) を使うと、それをベースにした記事が、プレスリリースそのままに載ることも多い。
- ・メディアは信頼で成り立っている。いきなりホームランはない。
- ・中国語にすると、世界中に情報を広められる(世界中に中国人研究者はいる)。
- ・ResearchSEA (アジア中心) や AlphaGalileo (ヨーロッパ中心) というサービスもある。

### 4. Who?

- ・チューリッヒ大学広報にはサイエンスライター6名、京大にはサイエンスライター0名・・・
- ・日本の場合は、サイエンスライター採用(科学に興味のある文系出身、出来ればメディア経験、英語苦手でもOK)が望ましい。
- ・まずは読みやすい日本語で練れた文章が書ければ大丈夫。それができれば日英外注が可能になる。

### 5. When?

- ・今すぐに!

科学コミュニケーション研究会 関西支部有志  
第42回 記録担当：加納 圭 (滋賀大学/京都大学)  
第42回 運営担当：加納 圭 (滋賀大学/京都大学)